

・研究名：皮膚超音波診断を支援するAIの開発

・研究の目的・概要

表面の小さい皮下腫瘍では皮膚超音波検査が有用ですが、画像の読影が難しいことがしばしばあります。私たちは皮膚疾患の超音波診断に人工知能を応用すれば皮下腫瘍の正確な診断と速やかな治療につながると考え、その臨床応用について研究しています。

・研究の概要

通常の診療過程で得られた臨床所見、超音波検査画像、病理組織所見などの情報を収集し、人工知能に学習させ、皮膚超音波診断を支援する人工知能を開発します。

人工知能の開発は奈良先端科学技術大学院大学で行うため、上記の情報は匿名化のうえ、奈良先端科学技術大学院大学に提供します。

人工知能による超音波診断結果と病理所見による診断を比較検討し人工知能による解析の感度・特異度を評価します。

・研究の対象となる方

2010年4月1日から2025年12月31日までの間に皮下腫瘍の精査で超音波検査を施行された方

・この研究は本学の医の倫理審査委員会の承認、および学長の許可を受けており、実施承認後から2028年3月31日まで行われます。

・この研究への参加は患者さんの自由です、患者さんの自由な意思でお決め下さい。対象の患者さんで、研究に参加したくない、情報を利用してほしくない患者さんは下記連絡先までご連絡ください。

・相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を利用してほしくない方、その他ご質問のある方は研究責任者にご連絡ください。

研究担当者：奈良県立医科大学皮膚科学教室 正畠 千夏

連絡先：0744-22-3031

・